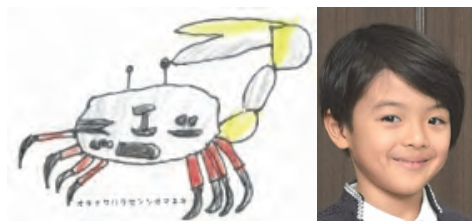


ふしぎなカニたち パート3 ～みんなのカニたちに会いたい～

カトリック学園海星小学校
3年 大浦湊丞



1. どうき・目てき

(1) どうき（調べようと思った理由）

ぼくは、ようち園の時から、カニを追いかけつかまえるのが大好きでした。一年生の時、東京から来たいとこと「石垣島の大ぼうけん！ふしぎなカニたち」の題で自由研究をしました。その結果、山や川より海の海がんの砂浜やマングローブにカニが多くいることがわかりました。マングローブのちがいも言えるようになりました。二年生になって、僕のぼうけんは石垣島を出て、家族が出かけるほかの島や沖縄島へ広がり海と空をわたる大ぼうけん、「ふしぎなカニたちパート2」へと広がりました。なぜカニはマングローブにたくさんいるのかな？なぜカニの近くにはかならず穴があるのかな？好きな時に好きな場所にカニを見るにはどうしたらよいのかな？カニは何を食べているのかな？ふしぎはふえるばかりです。自ぜんのカニしか知らなかったのに、カニについて本や人に聞いて調べると食べるカニや歌に出てくるカニのほかに、民わの絵本や物語に出てくるカニなど、身近な生活の中のカニのふしぎをさらに知りたくなりました。三年生になって白い砂浜ではシオマネキに会うと物語のカニに会えてとてもうれしくなり、3年生でもふしぎなカニたちパート3でもっとカニについて調べることにしました。

(2) 目てき（調べたいこと）

- ①カニはなぜマングローブに多くいるの？
- ②ふしぎな赤色の青色のカニはどこに行けば会えるの？
- ③カニは穴がお気に入りの場所なの？
- ④身近な生活で見られるふしぎなカニたちとは？

(3) 予想（調べたいことについてぼくの予想）

- ① カニはなぜマングローブに多くいるの？について
 - ・マングローブにはカニが好きな食べ物がたくさんあるから
- ② ふしぎな赤色の青色のカニはどこに行けば会えるの？ について
 - ・これまでカニをたくさん見た場所やつかまえた場所に行けば見れる
- ③ カニは穴がお気に入りの場所なの？について
 - ・カニは穴がおうちみたいでてきから身をまもって砂やドロの穴がお気に入りの場所だと思う。カニは穴の中でも空気があって息をしていると思う。カニは水の中でも魚みたいにえらでこきゅうをしていると思う。カニは水のないところでも人間みたいにいきをしていると思う
- ④ 身近な生活で見られるふしぎなカニたちとは？について
 - ・カニは物語に出てきていると思う。カニがぼくたちまわりでよく話題になっていることがあるはずだからそれについて本やネット人について知ることができると思う。

2. 方法・内よう（調べる方法）

(1) 調べた事はぼくの自由研究の結果として「湊丞チャンネル」に書く

(2) 湊丞チャンネルは、インターネットのブログを使って記ろくする

① カニはなぜマングローブにたくさんいるの？についての調べる方法

- ・ 調べる事：場所、月日時、天気、見た物、聞いた音、かいだにおいさわった物を書く
- ・ 感じた事：気付いたこと、思った事を書く
- ・ まとめる事：調べた事を写真・図・表でまとめる
- ・ ぼうけんする場所：名ぐらアンパル（石垣島）、宮良川（石垣島）先えだの海（石垣島）、大浜海岸（石垣島）、宮里海岸（黒島）、とよさきのひがた（沖なわ島）、沖縄科学技じゅつ大学院大学（OIST 沖なわ島）、美ら海財団研究所（沖なわ島 おんな村）、かでなマリーナビーチ（沖なわ島 かでな）、大度海岸（おきなわ島糸まん）

② ふしぎな赤色の青色のカニはどこに行けば会えるの？についての調べる方法

- ・ 人に聞いたり、調べた場所へぼうけんへ行く（宮良川、先えだの海岸、星野、かびら、名ぐら、とよさき、まんこしっち

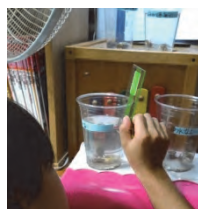
③ カニは穴がお気に入りの場所なの？について調べる方法

◇カニはすなやドロの場所がお気に入りの場所なのか？かんさつする

- ・ カニはどんな時に穴に入るのか？
- ・ カニの穴の大きさはカニの身体の大きさに変わるのか？
- ・ カニの穴はひとつなのか？

◇まんちょうの時どうやって息をしているのか？カニをつかまえて実験で調べる

- ・ 水が入ったコップにカニを入れて 12 時間様子を見る
- ・ 水が入ったコップにカニを入れて風を当て 12 時間様子を見る
- ・ 水のないコップにカニを入れて 12 時間様子を見る
- ・ 水のないコップにカニを入れて風を当て 12 時間様子を見る



④ 身近な生活でみられるふしぎなカニたちとは？について調べる方法

◇みんな話や物語に出るカニたちについて本やネット人に聞いて調べる

- ・ 八重山の歌や物語について調べる
- ・ 日本の歌物語について調べる

◇食べ物として身近なカニたちについて食べたり人に聞いたりレストランにて調べる。

- ・ 八重山の食べるカニについて調べる
- ・ 日本の食べるカニについて調べる
- ・ 自分でもカニを食べてみる

3. 結果と考さつ（調べた事・調べて分かった事）

① カニはなぜマングローブに多くいるの？について分かったこと

- ・マングローブの葉っぱが落ちて、水にとけてドロ砂スープになり、それがカニのえさになるので、マングローブにはたくさんカニがいる事が分かった。
- ・マングローブには、ミミズや小魚、小さな生き物がたくさんいて、それもマングローブのドロ砂スープをえさにしている事がわかった。
- ・カニや魚、ミミズ、貝を食べるシギやサギなどがいることが分かった。
- ・沖なわ島、石垣島でぼくが見たシオマネキは、オキナワハクセンシオマネキ、シモフリシオマネキ、ミニミヒメシオマネキ、ベニシオマネキ、ヤエヤマシオマネキ、リュウキュウシオマネキ、ルリマダラシオマネキを見ることができた。
- ・オキナワアナジャコの穴は1 m位ほらないとつかまえられる。
- ・アナジャコの穴をほるとかならずミミズがいることがわかった。

② ふしぎな赤色の青色のカニはどこに行けば会えるの？について分かったこと

- ・体が真っ赤できれいなベニシオマネキは、石垣島では5か所、沖なわ島では2か所で見ることができた。石垣に青いほうせきの様なカニがいる事が初めて分かった。

③ カニは穴がお気に入りの場所なの？についてわかったこと

- ・カニはてきからにげて身をまもるために穴に入る。
- ・カニの穴の大きさはカニの体の大きさによってちがう事がわかった。

◇カニはどうやって息をしているか実験して分かったこと：2種類のカニ（オキナワハクセンシオマネキとイワガニのなかま）4匹ずつつかまえて12時間以上様子を見た。（べつべつのコップに入れる）

- ・実験結果からカニは水の中で息をして生きることがわかった。
- ・実験結果からカニは体がかわくと生きられないことがわかった。
- ・実験結果からカニは水がないところでも体がぬれていれば生きられる事が分かった。

④ 身近な生活で見られるふしぎなカニたちとは？について分かった事

◇みんな話や物語に出てくるカニたちについてわかったこと

- ・八重山では「アンパルヌミダガマユンタ」や「ヤグジャーマ節」が物語や歌になっていて、昔から島人とカニがとても身近だということが分かった。日本では「さるかに合戦」という有名な絵本があって、八重山だけではなく日本でも昔から人とカニは身近だということが分かった

◇食べ物として身近なカニたちについて分かったこと

- ・小さなカニより大きなカニ身近な生活では良く食べられている事がわかった。自分でもカニをつかまえて食べた。油であげたりゆでたりするといいにおいがしてとてもおいしい。レストランで外国のカニを食べたらとてもおいしい事がわかった。

4. 調べた感想

2年生の3月から今年の研究をスタートしました。前よりもっとカニをつかまえることができるようになり、たくさんのカニに会うことができ、学校のお休みの日にカニ達

に会いに行くのが待ち遠しくてしかたなかったです。1年生の時からPCの授業がありパソコンやネットがつかえるようになり、インターネットで調べたり「湊丞チャンネル」をブログで記ろくしてかんさつをふり返る事ができました。むずかしかった事は、ルリマダラシオマネキをなかなか見つけられず、遠くから見ても小さくしか見えないので、かんさつがむずかしいなあと思いました。家に連れて帰ったカニたちを長く生きらせる事もむずかしくて、何人かの先生にカニのかい方を教えてもらいました。マングローブのカニたちはかうのがむずかしいと言われて、やっぱりカニは、ようじん深いし、かんたんにはいかないなあと思いました。これからふしぎなカニたちについて調べたいことは・カニが食べるドロ砂スープのふしぎについてしらべたい ・まっかできれいなベニシオマネキや、ほうせきのようなルリマダラシオマネキにもっと会いたいです。今回身近な生活で見られるふしぎなカニたちについてもっと知りたくて、「アンパルぬみだがまゆんた」を校内童話大会で発表しました。身近な生活で見られるカニたちはきっとたくさんいるのではないかと思っているのでこれについても調べ続けたいです。



5. 研究せいか・発表のきろく

- (1) 第35回八重山地区児童・生徒科学作品展 優秀賞
- (2) 第59回県児童・生徒科学賞作品展 佳作
- (3) 第5回「八重山に国立自然史博物館をつくろう」小中高生研究発表会 奨励賞

6. 調べた本や訪ねた場所・お世話になった人

- (1) 調べた本：マングローブ生態系探検図かん（育成社）、アンパルヌミダガマユンタ（銀河社）、なぐらアンパルガイドブック、沖なわ貝・カニ・エビ図かん
- (2) 調べたホームページ：まんこしっち水鳥センター、大工哲弘さんのブログ、石垣市教育委員会、沖縄・八重山三線教育ブログ
- (3) お世話になった場所・たずねた場所：沖縄美ら島財団総合研究センター、石垣市立図書館、沖縄科学技術大学院大学、琉球新報社、沖縄県立図書館、沖縄県立博物館
- (4) お世話になった人：伊藝さん・山本さん（沖縄美ら島財団研究員）、成瀬とおる先生（琉球大学）、池田さん、大嶺さん（琉球新報社）、O I S Tの研究員の方、知名かつあき君、よのぎまり先生、けだもりじゅんこさん、東大浜つよしさん、山田つよしさん、宮城兄妹、ちはらしおりさん、いまいふうま君、具しけんこうたろう君
- (5) 一緒に調べた人：大浦こはるさん（海星カトリック幼稚園）（妹）